

bethel hospice letter spring

ホスピスだより

tender loving care vol.25



松山ベテル病院 緩和ケア病棟

〒790-0833

松山市祝谷6丁目1229番地

TEL 089 (925) 5000

FAX 089 (925) 5599



医療法人 聖愛会

松山ベテル病院

<http://www.bethel.or.jp>

～その人らしさを求めて～



私たち看護部の理念は“その人らしさを大切にした看護ケアを提供する”です。看護学生の臨地実習で『看護師さんはどの患者さんに対してもその人らしさを大切にした関わりを目指していると話されていますが、その人らしさってどうやって見つけるんですか?』このような質問をいただきました。

改めて自分自身を振り返ってみると、スタッフ一人一人、患者さま・ご家族と関わる中で試行錯誤しながら“その人らしさ”を求めて、日々、皆さまと関わっているんだなということに気がきました。それは会話の中からふと見つかることもあります。またご家族との話の中で、患者さまが大切にしているものが何なのかを知ることもあります。一つだけ言えるのは、“その人らしさ”は看護師一人の力で導き出すことはできず、皆さまの支えがあつてのことです。

今号では“その人らしさ”に焦点を当て、素敵な笑顔を見せてくれた方々をご紹介します。いただきたいと思います。



当院では患者さまのお部屋の壁にご家族と撮った写真や手紙などを飾っています。ご自身が写る写真を飾ると最初は皆さま照れくさそうにされますが、『写真なんていつぶりだろう』『久々の家族写真ね』などと喜んでいただいています。

長井久美子様のお部屋の壁は写真だけでなく、絵画展のようにお孫さんが書いた絵やご友人の絵葉書が飾られています。

『元気がでるよね』たくさん飾られた壁をみて笑顔でお話ししていただきます。



ライオンキングの絵はお孫さんが書かれたものです。

『孫からもらったけど、くるくる巻きにして置いてたら、看護師さんが飾ったらって言ってくれて飾ったんよ。それからいろんな絵や家族と撮った写真を飾ってすごく賑やかでしょ。』とニコニコと話してくださる姿に私たち看護師も嬉しくなります。

今度はどこに飾ろうかと看護師に相談してくれて、一緒にレイアウトを考えるのがとても楽しい時間となります。



長井さんのお部屋の作品で最後に紹介するのは、お孫さんが書いてくれたお手紙です。一生懸命書いてくれた絵が長井さんに元気と笑顔を。お孫さんのお話もたくさんしてくださり、ほっこりした気持ちになります。



～最高の笑顔～

四日東洋城さんは愛媛生まれ愛媛育ち。
若い頃は関東で仕事をされていました。
縁あって生まれ故郷である愛媛に戻られ、それからは
奥様と二人三脚で生活されていました。

多々いろいろな苦勞を乗り越えられ、いつも二人で
支え合いながら生活されていた二人。

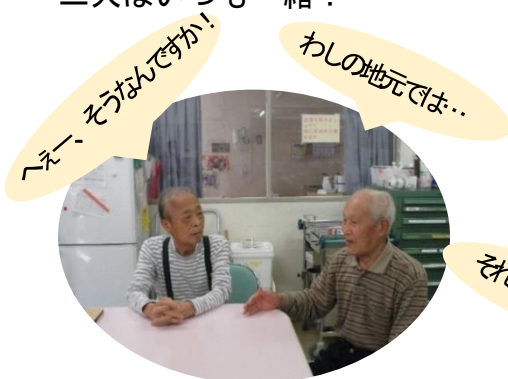
東洋城さんは都会で生活されていたこともあり、身のこなしから人との関わり方など、
全てにおいてスマート！どこか気品漂う方でした。

松山ペテル病院での生活に、はじめは緊張されていた様子でしたが、スタッフとの関わり
や様々なイベントを通し、少しずつ病院での入院生活にも慣れてきました。
他の患者さまとも仲良くなり東洋城さんには素敵な笑顔が！

その時々のお思い出を“写真“という形に残していく中で見られた最高の笑顔！
奥様は『お父さんのこんな最高の笑顔を見たのははじめて！』と話されました。
東洋城さんの笑顔を見つめる奥様にも最高の笑顔が見られました。

【佐市さんと過ごす東洋城さん】

東洋城さんは政治経済について、佐市さんは地元の祭りの話をします。
住んでいた場所も経験してきた事も全く違う二人ですが、とても仲の良い二人です。
二人はいつも一緒！



～えー、そうなんですか！

わしの地元では…



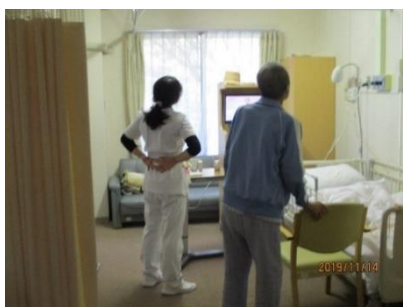
それは おもしろい！

こげなことがあつてのう…



はい、チーズ！！

私達は患者さまが“今こうしたい！”という気持ちを大切にしたい関わりを目指しています。



【テレビを見て“ラジオ体操がしたい！”と
言った東洋城さん。スタッフと一緒にラジオ体操
をしました。】

体操が日課ではない東洋城さん。
しかしこの日ははっきりと『体操がしたい！』と
話されました。“じゃあ、一緒に体操しましょう♪”

首の体操をします！ 手を伸ばしてー



東洋城さん、カメラ見つけて
体操そっちのけ(笑)

～子供の頃の夢を形に～

“おいさんはなあ、子供の頃、一番に飛行機乗りになりたかったんやで”

お話好きの渡部佐市さんはいつも子供の頃の夢を語ります。

生き生きと語られる一方でその表情からはどこか寂しさも一緒に感じられます。

佐市さんの夢を現実にしたかったのに叶わなかった悔しさを私達は肌で感じていました。

佐市さんは私達医療従事者だけでなくチャプレンや患者さまとも話が弾み、いつも笑顔が絶えませんでした。

特に気があったのが佐々木チャプレン。

佐々木チャプレンにも飛行機乗りになりたかった夢を語られていたようで、少しでも子供の頃の夢が形になるようにとプラモデルの作成と紙飛行機対決をすることになりました。

試行錯誤しながらプラモデルを作成し、よく飛ぶにはどうしたらいいか考えながら、紙飛行機と向き合う日々。

やっと完成し、スタッフも含め皆で紙飛行機対決！

『こうしたらもっと飛ぶんじゃないだろうか、ここはこうでええんかな？』

など生き生きとした佐市さんの言葉と笑顔が飛び交いました。



【プラモデル作成の場面】

よっしゃ！
ここじゃな。

佐市さん、ここを
切ってください。



これ、
あつとるんかいな…

大丈夫です。



あっ、
そうですね！

ここは、
こうなんじゃ？



毎日、コツコツと時間をかけ、少しずつ少しずつ完成に向け、試行錯誤の日々…

【紙飛行機対決の場面】

よっしゃ！
いくぞ！



佐市さん、
頑張って！！



はい、チーズ♪
『よく飛ぶ渡部佐市1号』



佐市さん、
名前を書きましょう



飛ばすぞ！！



佐市さーん、
ここまで
飛ばしてー！



どうしたら、よく飛ぶんだろう？？
ここを少し改良してみて…





これはどうですか??



今から、飛ばしますっ!!



今度は私もやってみます!



よし! ワシもいくぞ!



やっぱいかなあ。
どうしたらええんやろ...



それ!!



2つできました!



広告で作った試作品♪

佐市さんは、穏やかでやさしく、少年のような素直さもあります。佐市さんと話しているとみんなが笑顔になります。でも、そんな佐市さんが、しみじみと言いました。

「つまらん人生になってしまったわい」

話を聞くと、本当はしたいことがたくさんあるのだけど、世話をしてくれる周りの人のことを考えると、我慢しなければいけない事もたくさんあるということでした。「つまらん人生になってしまったわい」とは、自分のしたいことを好きなように出来なくなった、という意味でした。

「なんぞ、面白いことはないかのう。考えてはおるんじゃが、ちいとも浮かびやせん。」と、言う佐市さん。

何か、佐市さんにとって面白いことはないだろうか。どうしたら、佐市さんが病院の中でも生き生きと過ごせるだろうか。いろいろなスタッフが考えました。するとある日、まだ作っていないゼロ戦のプラモデルを譲ってくれた方がいました。若い頃の佐市さんの夢は飛行機乗りになることでしたので、佐市さんはプラモデルを見ると喜びました。それから何日もかけて私と佐市さんはプラモデルを組み立てました。組み立てながら、佐市さんはいろいろな話をしました。小さかった頃のこと、戦争のこと、両親のこと、奥様のことなど、時折、涙を浮かべながら話しました。

プラモデルの完成が近づくにつれ、私は佐市さんと一緒に楽しめるものはないか再び考えました。

ふと私は佐市さんの部屋にあった要らない紙で紙飛行機を折りました。飛ばしてみると、すぐにひっくり返って地面に落ちてしまいました。それを見た佐市さんは、紙飛行機を改良しはじめました。佐市さんは機械が大好きで、自動車整備士の資格も持っているのです。それから私たちは時折紙飛行機を改良しては飛ばしたのでした。私の作る紙飛行機は、すぐにひっくり返って地面に落ちてしまうので、佐市さんは笑っています。

紙飛行機の対決の結果は見事! 佐市さんの勝利! 日々、試行錯誤して作り上げた佐市さんの紙飛行機は夢を乗せ、遠く遠く飛んで行きました。

病院でできることは些細なことです。しかし今後も患者さまが、その人らしく、生き生きと過ごせるように、これからもみんなで一緒に考えていきたいと私たちは思っています。

(チャプレン・佐々木真理)



ボランティア募集しています！

病室へのティーサービスにご奉仕くださる方、病棟のお花やベランダの園芸のお世話をしてくださる方、こもれびの森のお手伝いをしてくださる方、チャペルでのレクリエーションにご協力くださる方等々。

※心身ともに健康な方で、定期的・継続的に活動いただける方の問い合わせをお待ちしております。

TEL : (089) 925-5000 FAX : (089) 925-5599

E-mail : volunteer@bethel.or.jp

(ボランティア委員会 担当：森)



ホスピス献金をお願いします!!

ホスピス献金は、緩和ケア病棟等の援助など、聖愛会の諸活動の援助の為に聖愛会に寄付としていただいております。

皆さま方の温かいご支援をお願い申し上げます。

★現金送金★

〒790-0833 松山市祝谷 6 丁目 1229 番地

松山ベテル後援会（松山ベテル病院内）

★郵便振替口座★

口座番号：01610-2-25364 名義：松山ベテル後援会

※「ホスピス献金」として献げる旨と「金額」をご記入ください。



編集後記

日増しに春らしくなってきました。

当院の庭でも様々な花が美しく、咲き誇っています。

今号では“その人らしさ”に焦点を当て様々な形の“その人らしさ”を紹介させていただきました。

患者さま・ご家族との関わりを通し、今後とも“その人らしさ”を大切にしたい関わりを目指していきたいと考えております。

今後も随時ご紹介させていただきたいと思います。どうぞご期待ください。

ご協力いただいた皆さまには深く感謝いたします。

担当：佐々木・神山・寺田・二宮

